

The Total Raster Solution Software

ハイブリッドCAD&ベクタライズソフトウェア

VP HybridCAD® Series

RASTER AND VECTOR UNITED

ハイブリッドCAD&GIS基図作成ソフトウェア

VP map® Series

THE PERFECT BRIDGE FROM SCAN TO GIS

標題欄抽出&インデックシングソフトウェア

VP index® Series

PROFESSIONAL INDEXING SOFTWARE

高速ハイブリッドビューイングソフトウェア

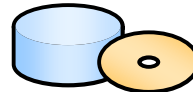
VP view®

HYBRID VIEWING TECHNOLOGY

VPシリーズは、社内図面や支給図面からのCAD/GIS運用、データベース登録等、図面/ドキュメントの電子化に関連する業務の効率化、お悩み事を解決する様々なソリューションソフトウェア群をラインナップしております。



スキャナー
[ラスタ]



外部データ
[ラスタ] [ベクタ]

VP HybridCAD Series
RASTER AND VECTOR UNITED



CAD図面へ展開

- ✓ ラスタ編集
- ✓ ベクタ作図
- ✓ ハイブリッド図面作成
- ✓ ラスタベクタ変換

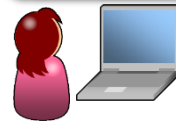
VP map Series
THE PERFECT BRIDGE FROM SCAN TO GIS



CAD/GISへ展開

- ✓ ラスタ編集
- ✓ ベクタ作図
- ✓ ハイブリッド図面作成
- ✓ ラスタベクタ変換
- ✓ DB付与/DB出力

VP index Series
PROFESSIONAL SOFTWARE



インデックシング

- ✓ 表題欄パターン認識
- ✓ 表題欄OCR処理
- ✓ 属性(CSV)出力
- ✓ 自動リネーム

VP view
HYBRID VIEWING TECHNOLOGY



高速ビューワー

- ✓ ラスタ/ベクタ/GISデータ等
約50種類のフォーマット対応
ハイブリッドデータを高速閲覧
- ✓ 計測/印刷/レッドライン作図

VP HybridCADシリーズはスキャンされた各種図面等を、CADと同様の感覚で思いのままに編集加工が行えるハイブリッドCADソフトウェアです。また、高速且つ高精度のベクタライズ機能を持っており、有益な資源となる紙図面やPDFを活用して図面作成へ導きます。

VP map シリーズはVP HybridCADシリーズの機能に加えて、GIS/FMの基図作成に適したコマンド群を搭載したソフトウェアです。作成した図形要素に対して任意の属性情報を付与/抽出することができ、データはDB付きの各種形式(SHP形式等)で出力することができます。

VP indexシリーズは図面や帳票等を電子化する際に一番厄介となる手入力によるファイル名付けや属性入力作業を飛躍的に合理化するインデックシングソフトウェアです。表題欄形状を自動識別し、各フィールドを高精度でOCR処理した後にファイル名付け、属性(CSV)出力を行います。

VP viewは高速/高性能なマルチフォーマット対応のハイブリッドビューワーです。高解像度且つ長尺図面であっても驚くほどのスピードでビューイングします。約50種類におよぶラスタ、ベクタ、ハイブリッドデータをサポートしております。



Digital e-Tech Corporation

<http://www.d-eteck.co.jp>

Always Ahead

VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ 概要

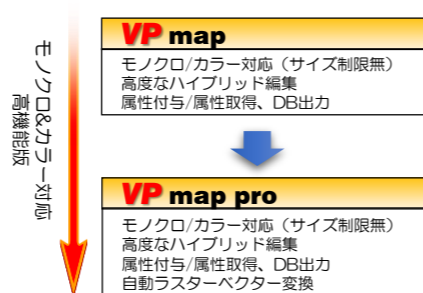
VPHybridCADシリーズは、スキャンした図面あるいはPDF等の支給データの品質を向上させるだけでなく、CAD編集と同様の感覚でラスターデータを操作し、効率的に図面作成が行える高機能なハイブリッドCADアプリケーションです。更にVPmapシリーズは、VPHybridCADシリーズの機能に加えて、様々な属性情報を付与/取得し、各種データベース形式で出力することができるDB機能付きハイブリッドCAD/GISアプリケーションです。

- ✓ 4つのプラットフォームをサポートしております。[Windowsスタンドアローン/AutoCAD®プラグイン/BricsCAD®プラグイン/ZWCAD®プラグイン]
- ✓ VPHybridCADシリーズは、用途に合わせて5製品をラインナップしております。[VPstudio/VPstudio mono/VPlite/VPraster/VPraster edit]
- ✓ VPmapシリーズは、用途に合わせて2製品をラインナップしております。[VPmap pro/VPmap]
- ✓ TIF、PDF、XDWをはじめとして50数種類におよぶ豊富な入出力フォーマットをサポートしております。

VPHybridCADシリーズ ラインナップ

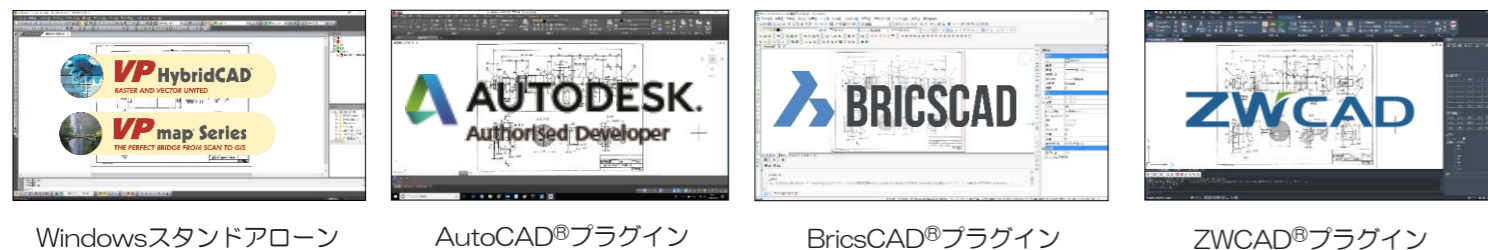


VPmapシリーズ ラインナップ



AutoCAD® / BricsCAD® / ZWCAD®プラグイン環境のサポート ※ラスターベクター混在CADシステム

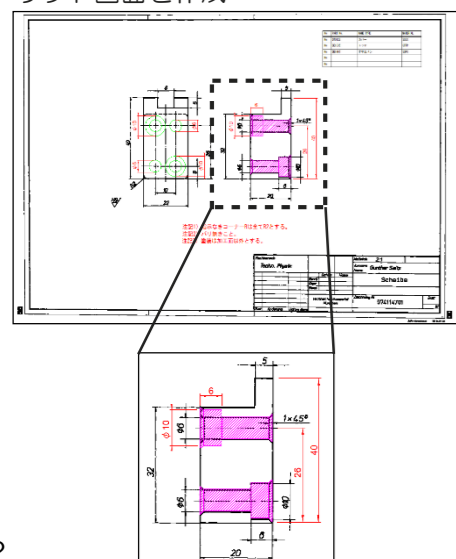
VPHybridCADシリーズ/VPmapシリーズは、Windows上でスタンドアローンアプリケーションとしてのご使用に加えて、AutoCAD®プラグイン、BricsCAD®プラグイン、ZWCAD®プラグインの4つのプラットフォームでご使用いただけます。AutoCAD®/BricsCAD®/ZWCAD®プラグイン版でインストールしても、スタンドアローン版も同時にインストールされます。双方を切り替えて使用することができます。社内の過去図面や支給図面・支給データ(PDF等)を再度CADで作成し直すことなく、スムーズに設計業務に入っていただくことが可能となります。



各種分野におけるハイブリッド図面作成例 ※ハイブリッド図面→ラスターベクター混在図面

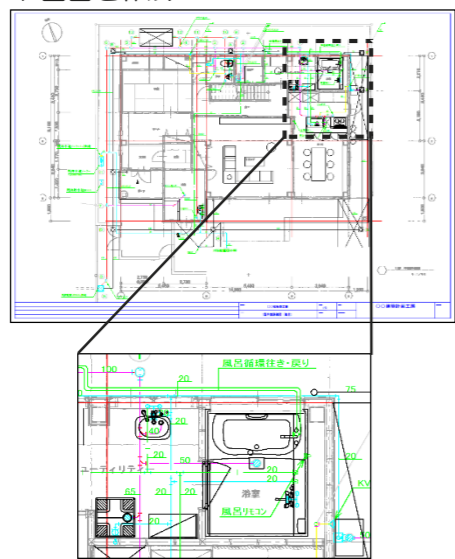
[製造業における図面改修]

スケール調整後の機械図面上に設計変更や加工指示等を作図し、ハイブリッド図面を作成



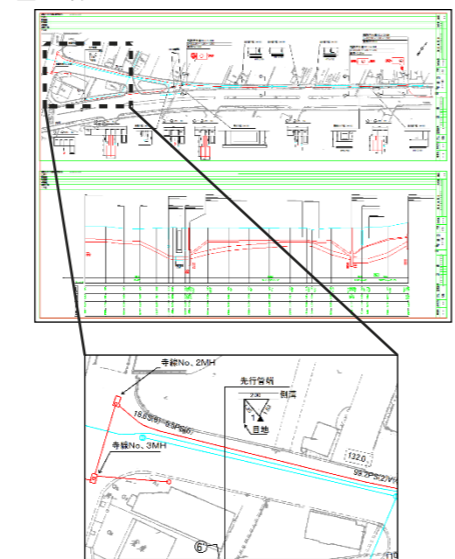
[設備業における設備設計]

スケール調整後の躯体図上に設備図や改修設計等を作図し、ハイブリッド図面を作成



[建設業における各種設計]

スケール調整後の平面図上に各種詳細設計等を作図し、ハイブリッド図面を作成

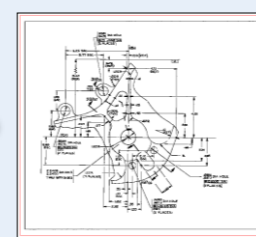
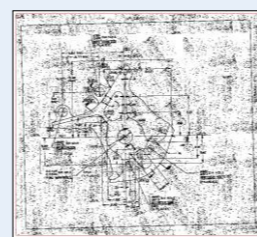


VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ 共通機能

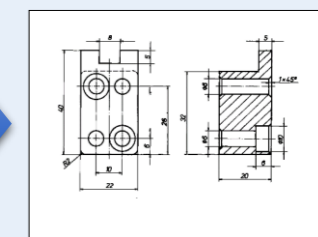
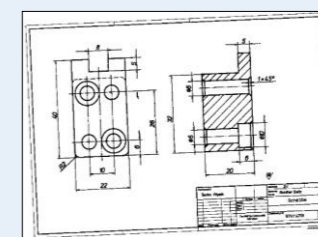
ラスタークリーニング機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPraster edit, VPmap pro, VPmap

ゴミ除去、傾き補正、回転等の処理を高速に行うことができます。また、ボタン1つでゴミ除去/傾き補正が実行可能な自動クリーンアップ機能も搭載しております。



斑点除去



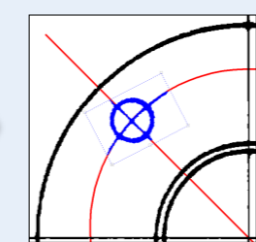
傾き補正、エリア切り出し

CADライクなダイレクトラスター編集機能

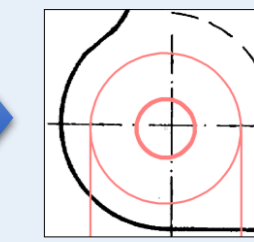
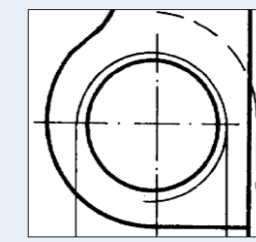
対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPmap pro, VPmap

CAD要素を操作するようにラスター要素(ライン、円、円弧等)を自由自在に編集加工することができます。

ダイレクトラスター選択時には自動的にラスター交点が認識されます。これによりラスターとは思えないほど簡単に修正作業が行えます。



選択エリアの移動および回転

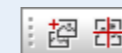


ダイレクトラスター選択による修正

簡単マージ機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPraster, VPmap pro, VPmap

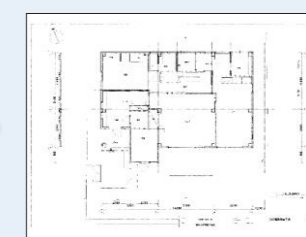
分割でスキャンされた図面を簡単に繋ぎ合わせることができます。2点間スケール合わせ、オーバーラップ部分の自動消去機能を搭載しておりますので、綺麗に元サイズに復元します。



1枚目 2枚目



2点間スケール合わせ



合成後

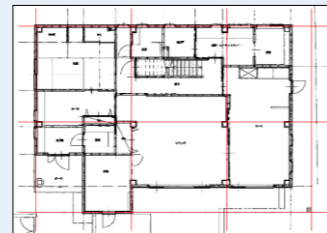
高精度な多点ラバーシート補正機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPmap pro, VPmap

ポイント無制限のラバーシート補正により図面の伸縮や湾曲歪みをゴムを引き延ばすような感覚で原寸座標に補正します。またグリッド指定、任意ポイント指定、ベクター参照指定等の豊富なポイント指定オプションを搭載しています。これにより迅速且つ容易に補正元・補正先のポイント指定が行えます。



歪み補正前



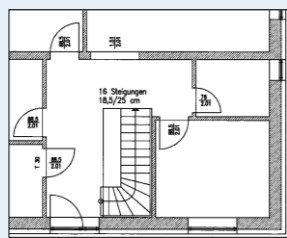
歪み補正後

ラスタベクター変換機能

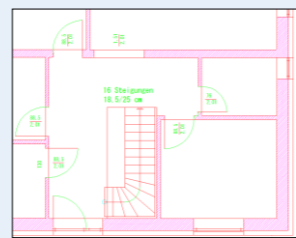
対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPmap pro

高精度且つ高速の変換スピードを実現した最先端のベクター変換アルゴリズムを搭載しております。ラスタは最適なベクター要素に自動変換されます。また英数字に対する文字認識(OCR)も標準搭載しております。

※ 日本語OCRオプションは別オプションとして搭載可能となっております。



ベクター変換前



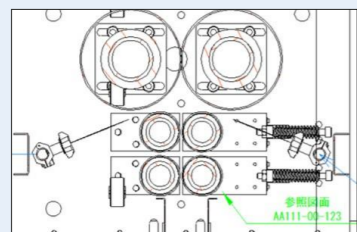
ベクター変換後

ベクターPDFサポート※

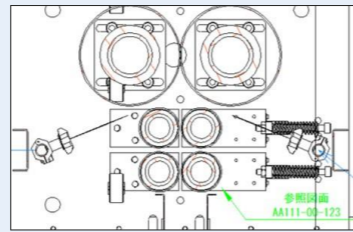
対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPraster edit, VPmap pro, VPmap

PDF形式にはスキャニングにより作成されたラスタPDFと、CADソフトから直接出力されたベクターPDF、ラスタベクター混在PDFがあります。VPシリーズはこれらのPDF形式をサポートしております。

※ 一部のPDF形式あるいはパスワード付きPDF形式の場合は正常に開くことができない場合があります。



ベクターPDF



.dxf/.dwg出力

テーブル認識結果をCSV出力

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPraster, VPmap pro, VPmap

図面/帳票内の部品表等の罫線内文字情報をOCR処理した後に帳票形式のCSVデータとして出力することができます。テーブル認識画面では、容易にOCR結果の確認および修正が行えます。また列/行あるいは選択したセルに対して認識する文字種(OCR設定)を切り替え、再認識を行うことができます。



記号	区分	形状	管径高
1	小口径側	45L 100-150	550
2	小口径側	90Y 100-150	570
3	小口径側	90Y 100*75-150	580
4	小口径側	22.5L 100-150	600
5	小口径側	90Y 100*75-150	630
6	小口径側	90Y 100-150	650

テーブル認識



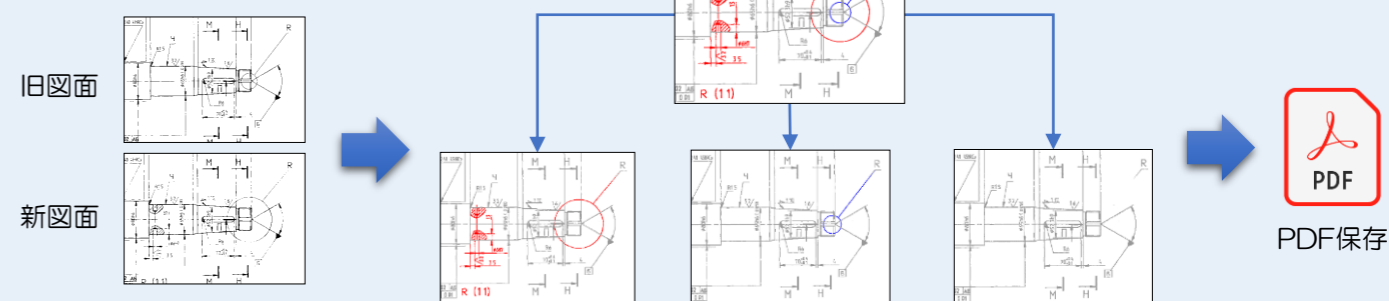
	A	B	C	D
1	記号	区分	形状	管径高
2	1	小口径側	45L 100-150	550
3	2	小口径側	90Y 100-150	570
4	3	小口径側	90Y 100*75-150	580
5	4	小口径側	22.5L 100-150	600
6	5	小口径側	90Y 100*75-150	630
7	6	小口径側	90Y 100-150	650
8	7	小口径側	90Y 100*75-150	670
9	8	小口径側	90Y 100*75-150	700
10	9	小口径側	90Y 100*75-150	720
11	10	小口径側	90Y 125-200	770

CSV出力

差分比較機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPraster, VPmap pro, VPmap ※スタンドアロン版として使用時のみ

新旧図面を比較し、差分(削除や追記された箇所)をハイライト表示します。移動/2点合わせ/3点合わせ機能等により、図面間の伸縮補正を施して差分を比較することができます。また差分箇所の表示切替や、比較状態をそのままレイヤ構造付き(※)のPDFファイルとして保存することができます。



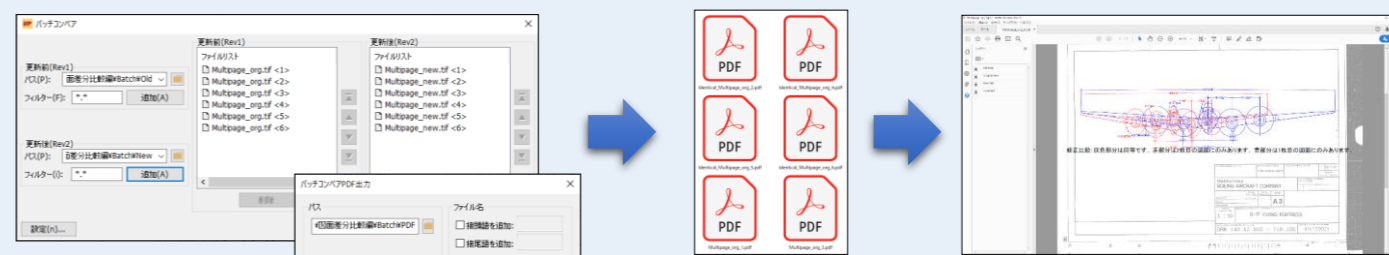
※ Acrobat Reader内でレイヤ表示を切り替えて表示することができます。

バッチコンペア機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPraster, VPmap pro, VPmap ※スタンドアロン版として使用時のみ

複数ファイルまたはマルチページファイル(PDF/TIF)をバッチによる連続処理で相互に差分比較します。比較結果は後で確認できるようにレイヤ構造付き(※)のPDFファイルで一括出力します。

※ Acrobat Reader内でレイヤ表示を切り替えて表示することができます。



バッチコンペア開始

PDF保存

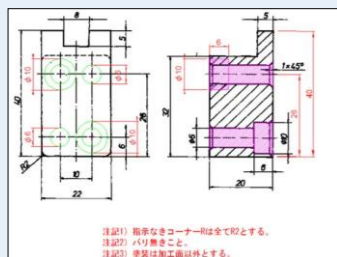
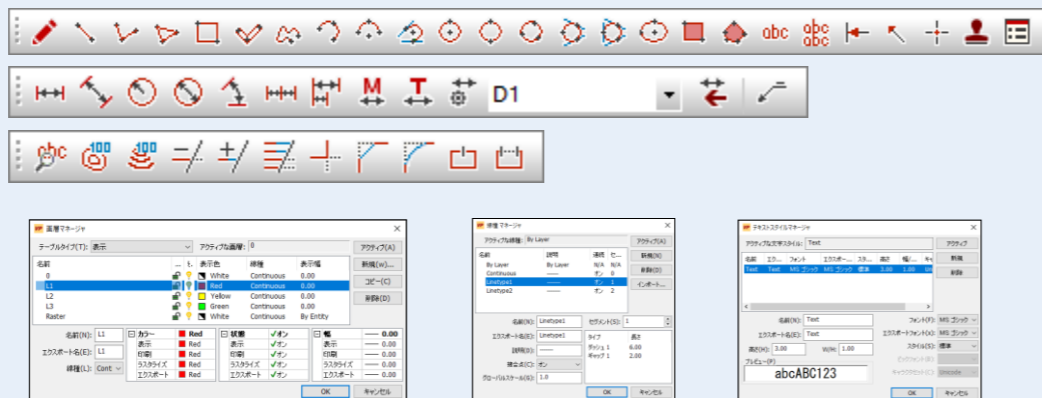
PDFビューワー表示

汎用CAD作図機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPraster edit, VPmap pro, VPmap

標準的なCAD作図（ライン、円、円弧、テキスト等）に加えて、面取り（※1）、フィレット（※1）、ブロック図形（※1）や寸法線（※2）、ハッチング等の豊富な汎用CAD作図機能を使用してCAD作図を行うことができます。また.dwg/.dxfデータを取り込むことで、既存のCADデータを流用しながら効率良く図面等を作成することが可能となります。

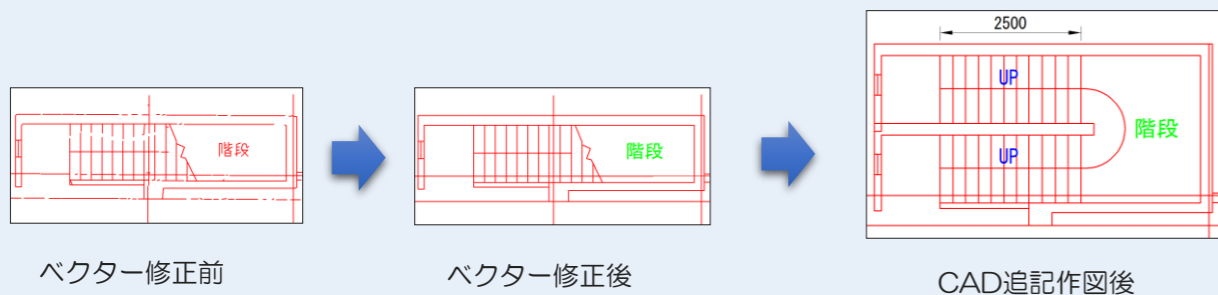
※1 VPraster editを除く
※2 VPlite, VPraster editを除く



豊富なベクター修正機能

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPmap pro, VPmap

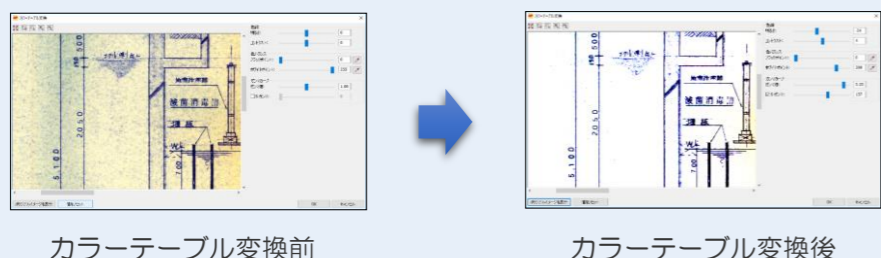
要素結合、文字修正、トリム等を使用することでベクター変換後のベクター要素を容易に修正することができます。また汎用CAD作図機能を搭載しておりますので新たなCAD作図を行うことができます。



カラーデータハンドリング処理

対象：VPstudio, VPraster, VPmap pro, VPmap

カラー/グレースケールデータのクリーンアップ処理としてカラーテーブル変換機能が行えます。色調、色バランス、ガンマ補正（s-ガンマ補正）の効果をリアルタイムに確認しながら色補正が行えます。またこれらの値はコマンドラインより実行することも可能です。

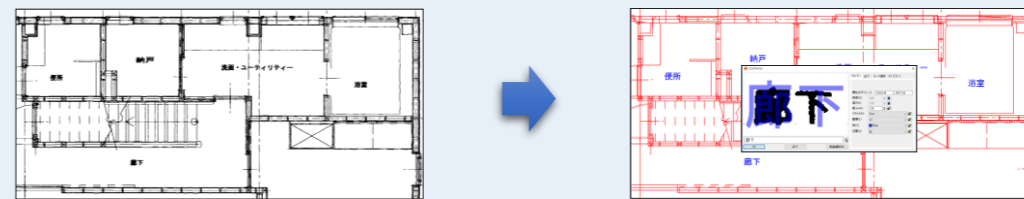


日本語OCRオプション※

対象：VPstudio, VPstudio mono, VPlite, VPraster, VPmap pro, VPmap

別売の日本語OCRオプションを使用することで日本語文字認識(OCR)が行えます。ラスターテキストコマンドではイメージ内の日本語文字を高精度で認識し、ベクターテキストあるいはラスターテキストに置き換えることができます。

※ 日本語OCRオプションは別売オプションです。イメージの品質によっては良好なOCR結果が得られない場合があります。



VPmapシリーズ 追加機能

地図や航空写真等はGISシステムの主要なデータソースとなります。VPmapシリーズではオリジナルの地図ドキュメント等を正確に幾何補正し更に属性付きベクターデータを作成します。作成されたデータは様々なGISアプリケーション(ArcGIS-ESRI, VPgFile Professional, SIS, AutoCAD Civil/Map 3D, MapInfo等)に取り込める各種形式(GeoTIF, ワールドファイル, SHP, SIMA, MIF等)にエクスポートすることができます。

VPmapシリーズの運用例

公図からGISベースマップ作成

公図からGISのベースマップを作成するまでの一例です。一連の流れは、①公図のロード及び座標付け/ラバーシート補正、②地番文字のOCR認識、③区画線のベクター化、④地番ポリゴンの生成、⑤地番ポリゴンへの属性割当、⑥ラベル付け(表記文字)、⑦SHP出力となります。



建築平面図から面積を取得

建築平面図から面積情報を取得し、CSV形式で面積等の各種情報を出力することができます。

	A	B
1	フロア名	面積 (㎡)
2	リビング	24.00㎡
3	洋室1	22.00㎡
4	洋室2	10.00㎡
5	洋室3	9.20㎡
6	和室	10.50㎡
7	押入	4.00㎡
8	ホール	13.50㎡

各種シンボルの拾い出し

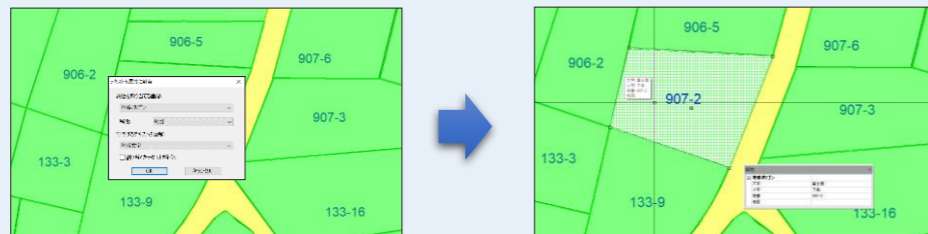
スキャン図面上に属性付きシンボル図形を配置することで設備機器等の名称や個数等の拾い出しを行うことができます。

	A	B	C
1	蛍光灯名	メーカー	型式
2	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
3	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
4	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
5	一般用照明	〇〇社	FL40X2 3
6	一般用照明	□□社	FL110X1
7	一般用照明	□□社	FL110X1
8	一般用照明	□□社	FL110X1
9	一般用照明	□□社	FL110X1
10	一般用照明	□□社	FL110X1

属性定義、属性付与

対象：VPmap pro, VPmap

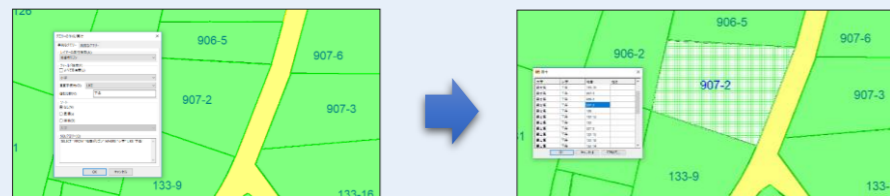
ベクター要素に対して任意の属性情報を与えることができます。属性情報はGIS特有の空間情報のみならず、XY座標値/面積/長さ/文字列/ブロック図形等の属性情報を自動取得することもできます。属性定義も専門的な知識を必要とせず作成いただけます。



属性検索

対象：VPmap pro, VPmap

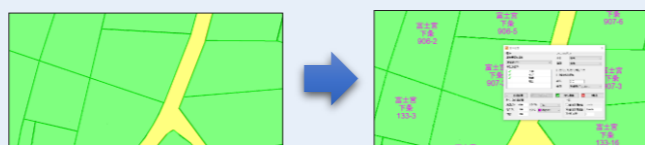
既に属性が付与されている図形要素を一括抽出することができます。どなたでも簡単に検索条件をセットすることができます。抽出された個々の図形要素に対して属性情報の確認/修正等が行えます。属性入力時は、対象の図形要素がズームアップされますので属性入力作業が大幅に軽減されます。



ラベル付与

対象：VPmap pro, VPmap

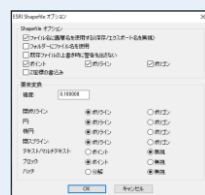
属性情報は指定した画層へ表記文字（ラベル）として書き込むことができます。表記文字（ラベル）に対する詳細（画層、文字色、文字高さ等）を設定することができます。この表記文字（ラベル）情報は.dwg/.dxf形式等で出力することができます。



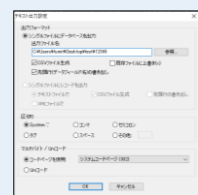
属性出力、SHP/Geo-TIF出力

対象：VPmap pro, VPmap

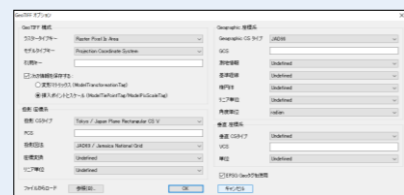
付与された属性情報はSHP形式、CSV形式等で出力することができます。また、座標付けされたTIFやJPEGデータはGeo-TIFあるいはワールドファイル（TFW/JGW/TAF）付のTIF/JPEGデータとして出力することができます。



SHP出力設定



CSV出力設定



Geo-TIF出力設定

VPindexシリーズとは？

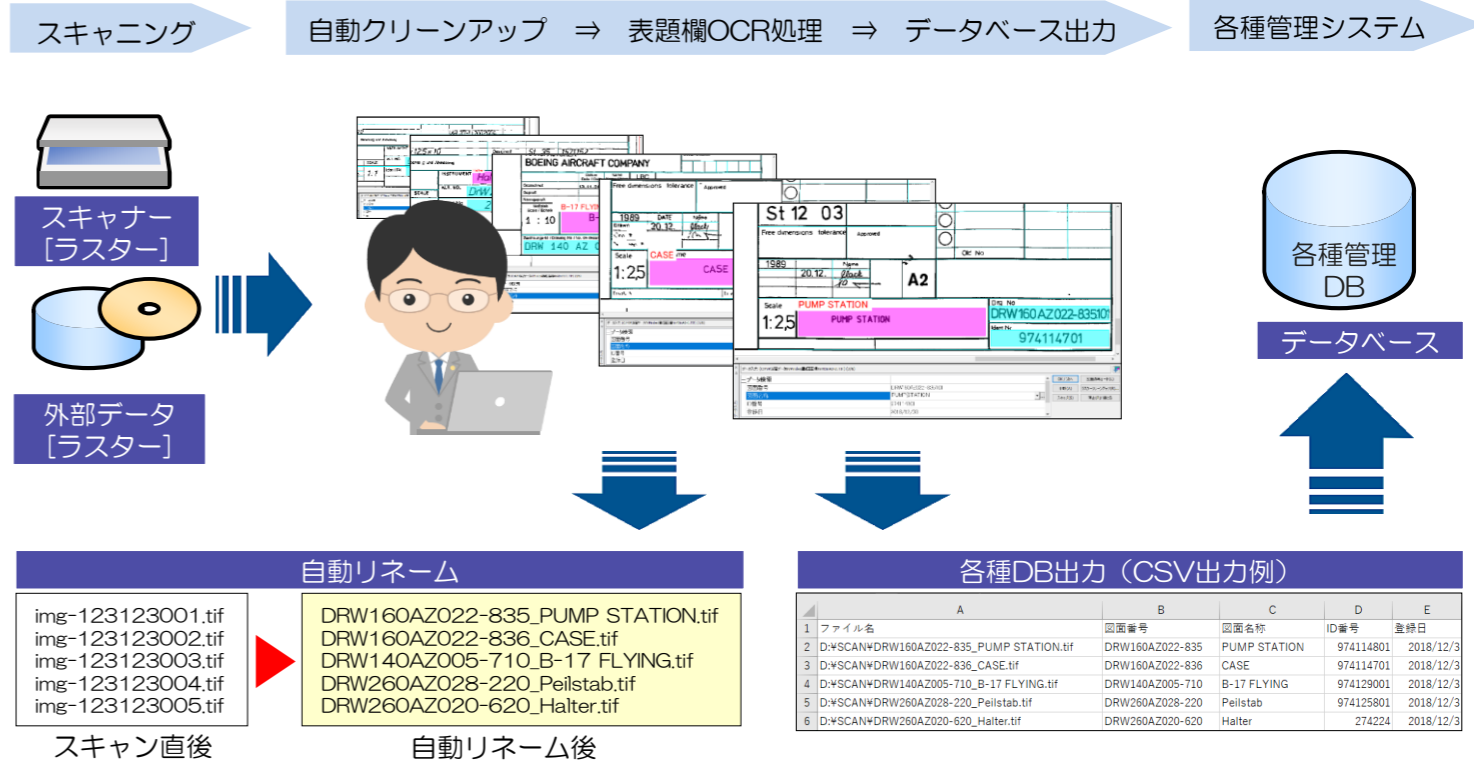
VPindexシリーズは、大量に存在する図面・帳票をデジタル化しデータベースで管理する際の手作業によるキー入力業務の時間と作業コスト、入力ミスを大幅に削減することができる最良のインデックス&アーカイブソフトウェアです。

VPindexシリーズを使用することで、図面の表題欄あるいは帳票に含まれる各種文字情報を迅速に抽出(OCR処理)し、CSV形式等(各種データベース形式)で出力することができます。またスキャンファイル名の自動リネーム機能、自動ラスタークリーンアップ機能を搭載し、これらの一連の作業を連続処理で行うことができます。

ウィザードによる簡単な操作で、社内に存在する複数パターンの表題欄形状および作業フロー(例えば図面クリーニング、ファイル名定義、データベース出力定義等)を設定することができます。その後、インデックス処理開始コマンドを実行するだけで大量に存在する図面・帳票のインデックス処理(OCRによる文字抽出)および自動リネーム処理が実行されます。



VPindexシリーズによるインデックス処理の流れ



VPindexシリーズ 四大特徴

特徴1：罫線パターンを自動識別

通常、社内には複数の表題欄（例えばA4用、A3用、A1用など）が存在します。識別したい複数の表題欄の罫線形状をパターン登録することで、インデックシング処理時に自動的に合致する表題欄を識別し、指定したセル内をOCR処理します。

例：パターン1

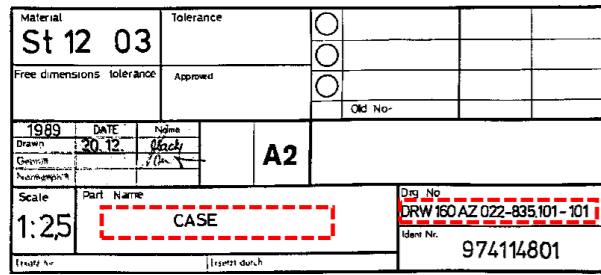
例：パターン2

例：パターン3

例えば、インデックシング処理時に処理対象の図面が左例のパターン1～パターン3の中のどれに合致するかを自動判別します。下図の例ではパターン2が自動的に使用されます。

特徴2：ファイル名を自動付与

インデックシング処理にて抽出した図面番号や図面名称等の情報をファイル名に自動付与します。柔軟にファイル名の定義ができるため、社内のルールに沿ったファイル名にすることができます。



スキャン直後

```

20181203153015010.tif
20181203153015013.tif
20181203153015021.tif
20181203153015032.tif
20181203153015054.tif
    
```

自動リネーム後

```

DRW160AZ022-835.101_PUMP STATION.tif
DRW160AZ022835.101-101_CASE.tif
DRW140AZ005-710.105_B-17 FLYING FORTRESS.tif
DrW260AZ028-220.209_Peilstab.tif
DrW260AZ020-620.208_Halter.tif
    
```

特徴3：各種データベース形式による属性出力

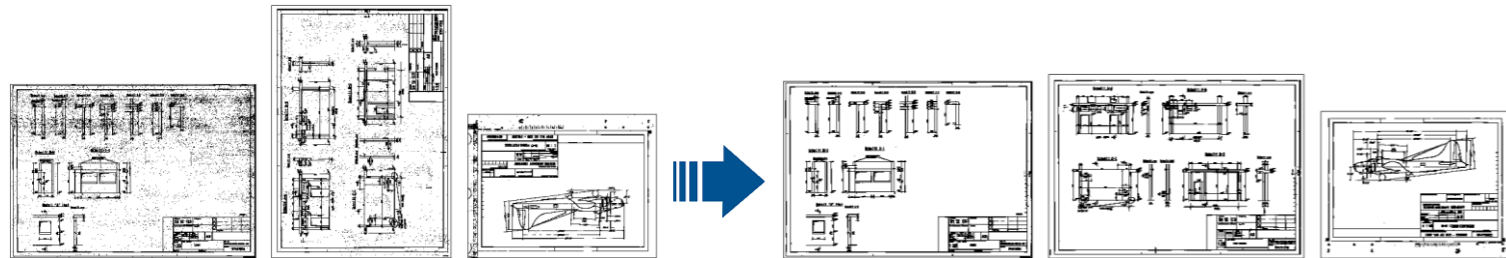
インデックシング処理にて取得した属性情報はCSVファイル、属性付きXDWファイルをはじめとして各種データベース形式で出力することができます。また帳票形式に準じたCSV構造（※）にカスタマイズすることもできます。

※ VPindexのみの機能です。

ファイル名	図面番号	図面名称	ID番号	登録日
D:\SCAN\DRW160AZ022-835_PUMP STATION.tif	DRW160AZ022-835	PUMP STATION	974114801	2018/12/3
D:\SCAN\DRW160AZ022-836_CASE.tif	DRW160AZ022-836	CASE	974114701	2018/12/3
D:\SCAN\DRW140AZ005-710_B-17 FLYING.tif	DRW140AZ005-710	B-17 FLYING	974129001	2018/12/3
D:\SCAN\DRW260AZ028-220_Peilstab.tif	DRW260AZ028-220	Peilstab	974125801	2018/12/3
D:\SCAN\DRW260AZ020-620_Halter.tif	DRW260AZ020-620	Halter	274224	2018/12/3

特徴4：ラスタークリーンアップ

インデックシング処理中に図面のクリーンアップ（自動ゴミ除去、自動傾き補正、自動回転等）をバッチ処理で行うことができます。これにより品質の向上した状態の最終図面を保管および管理することが可能となります。



インデックシング処理 支援機能

OCR詳細設定機能（文字認識精度の向上）

対象：VPindex, VPindex lite

OCR処理する各セルごとに、OCRする文字種をセットすることができます。例えば図面名称エリアは日本語認識、図面番号エリアは英数字認識、図面IDエリアは数字認識をセットすることで、文字認識精度を向上させることができます。また特定文字のみを使用してOCRさせることもできます。例えば、0(ゼロ)とO(オー)、1(イチ)とI(アイ)といった似た文字の誤認識防止に役立ちます。

図面番号: DRW 140 AZ 005 - 710.105

図面ID: 974129001

日本語認識 (0/O, 1/I)

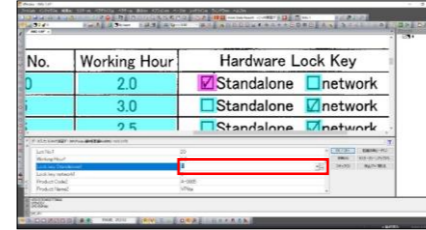
英数字認識

数字認識

チェックボックス認識

対象：VPindex, VPindex lite

チェックボックス認識が行えます。チェックボックス内のマークの有無によって、チェックがある場合は[1]もしくは[はい]を、チェックが無い場合は[0]もしくは[いいえ]を出力します。



バーコード、QRコード認識

対象：VPindex

通常のOCRに加えて、QRコード認識、バーコード認識（CODE39/128、JAN8/13、EAN128、UPC、PDF417）が行えます。

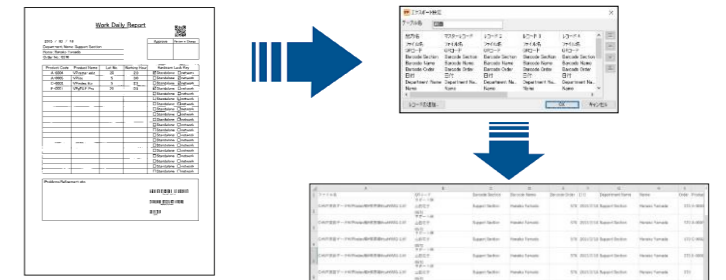
※バーコードの品質あるいは種類によっては認識できないことがあります。



各種帳票形式に応じたCSV出力

対象：VPindex

出力するCSVファイルの構造(形態)を自由に定義することができます。この機能は特に帳票のインデックシング処理に有効です。例えば出力されたCSVファイルを基幹の管理システムに取り込む場合、管理システム側の要求するCSV構造に合わせる必要があります。このような場合は、この機能を使用することで要求するCSV構造にマッチさせることができます。



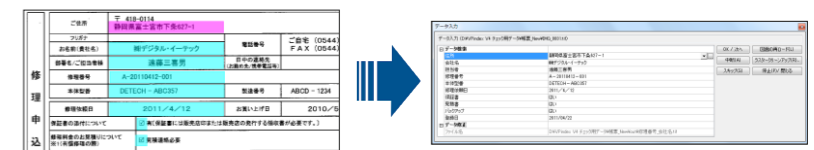
ラスタ編集機能

対象：VPindex

CADアドオン機能を除いて、VPrasterの機能がご使用になれます。詳細はVPHybridCADシリーズのVPrasterの機能をご参照ください。

日本語OCRオプション ※別売オプション

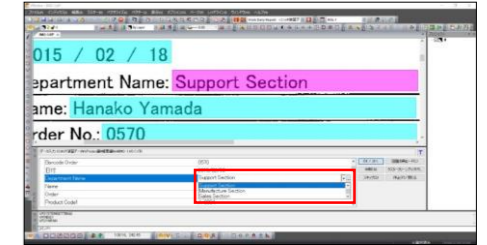
標準で英数字の文字認識機能は搭載しておりますが、別売の日本語OCRオプションを使用することでインデックシング処理時に日本語文字認識が行えます。※イメージの品質によっては良好なOCR結果が得られない場合があります。



リスト登録機能

対象：VPindex, VPindex lite

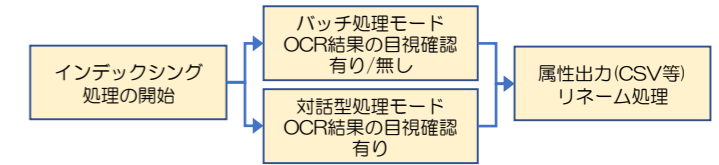
属性値が幾つかの決まった文字列の場合は、リスト登録機能を使用すると便利です。予めリストに値を登録しておくことで、OCR処理結果とリストに登録されている値を照合し、リスト内から適合する値を自動選択してくれます。



バッチによる自動インデックシング処理

対象：VPindex

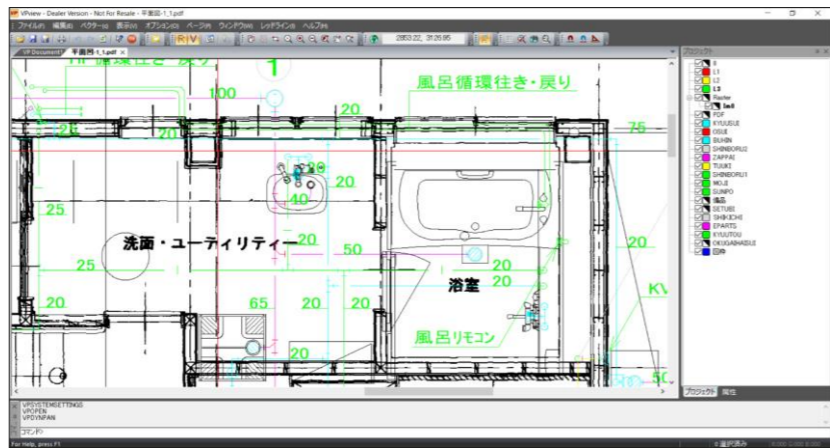
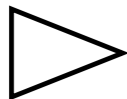
対話型モードではOCR結果を確認しながらインデックシング処理を行います。バッチ処理モードでは、後でまとめて目視確認を行うか、あるいはOCR結果の目視確認をスキップし、CSV出力およびファイル名の自動リネームを行うことができます。大量の図面をインデックシング処理し、後で属性内容を確認する場合に有効な機能です。



VPviewは、コストパフォーマンスに優れた高性能マルチフォーマットビューワーです。大判（図面サイズ無制限）のラスターデータであっても驚くほどのスピードでビューイングします。約50種類におよぶラスター、ベクター、GIS、ハイブリッドデータをビューイングすることができ、マルチページドキュメントにも対応しております。

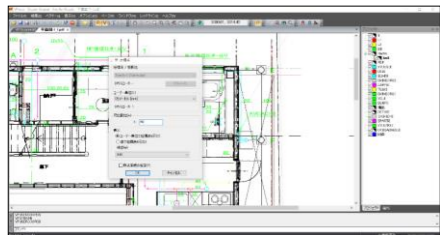
※ XDWフォーマットは、ラスターデータのみサポートしております。また、同一PCにDocuworks V7以降がインストールされている必要があります。

- ABB Group 4 (*.GR4)
- ABB Raster (*.VIF)
- Adobe PDF (*.PDF)
- Amiga IFF ILBM Raster (*.ILBM;*.IFF)
- AutoCAD (*.DWG;*.DXF;*.DWT)
- BSB Raster (*.KAP)
- Boeing EDMICS (*.B4)
- Cals Raster (*.RST;*.MIL;*.GP4;*.CG4;*.CAL)
- Computer Graphics Metafile (*.CGM)
- Core IDC (*.IDC)
- DCX Raster (*.DCX)
- DjVu Raster (*.DJV;*.DJVU)
- EDMICS (*.C4)
- ESRI Coverage (*.E00)
- ESRI Generator (*.GEN)
- ESRI Shapefile (*.SHP)
- Erdas Raster (*.GIS;*.LAN)
- Fuji Xerox (*.XDW)
- GIF Raster (*.GIF)
- GTX Raster (*.RNL;*.G4;*.G3)
- GeoSPOT 4.0 (*.BIP;*.BIL;*.BSQ)
- HPGL/HPGL2 Plot File (*.PLT;*.PRN;*.RTL;*.HP2)
- Hitachi Raster (*.HRF)
- IG4 Raster (*.IG4)
- IGS Raster (*.IGS)
- Intergraph Raster (*.CIT;*.RLE;*.TG4;*.CRL;*.COT;*.RLC)
- JPEG Raster (*.JPG;*.JPEG)
- Landsat/NLAPS (*.HD;*.L1G;*.L1R;*.FST;*.FF7;*.GTF)
- Lizard Tech MrSID (*.SID)
- M.O.S.S. RLN Raster (*.RLN)



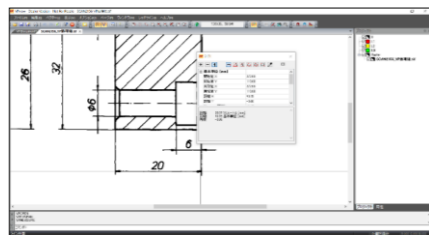
VPviewは、高速ビューイングに加えて、印刷、リアルタイムスクロール、ズーム、回転、各種計測、レッドライン（注釈）、差分比較等をご利用いただけます。*.dxf/.dwg等のCADデータの場合は、レイヤーの確認および制御（表示ON/OFF、印刷ON/OFF）が行えます。SHP等のGISデータの場合は、オブジェクト属性の表示・検査が行えます。

尺度設定



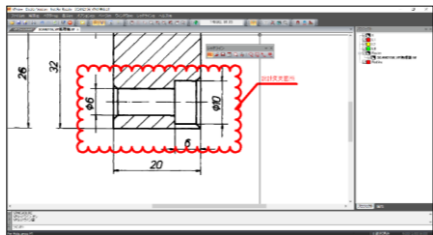
スキャンされた図面に対して尺度を与えることができます。

計測



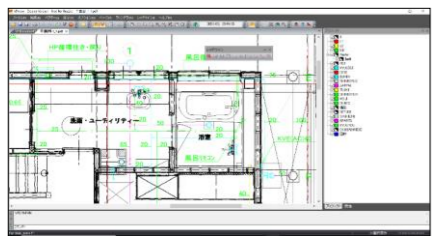
尺度設定された図面内の距離、面積等の計測を行うことができます。

レッドライン



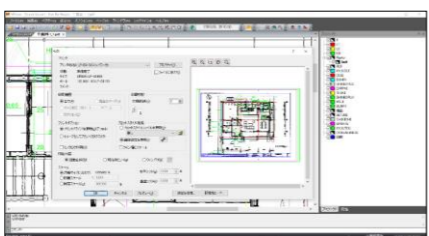
図面上に但し書きを記入し印刷することができます。

画層設定



CAD図面の特徴である各画層のON/OFFが行えますので、不必要な画層をOFFにして印刷等が行えます。

印刷



印刷時に、各要素の線幅指定、また、RTBファイルの使用も可能なので通常のCADから出力される品質が保てます。



ライセンス管理

VPソフトウェアは、USBキーによりライセンス管理を行っております。このUSBキーはPCのUSBポートに装着してご使用になるローカルライセンス方式に加えて、ネットワークライセンスとしてもご使用いただけます。ネットワークライセンスとしてご使用いただく場合は、ライセンスサーバーにUSBキーを装着した状態で、標準添付のVPLicenseManagerをインストールして同時使用ライセンスとしてご使用いただけます。

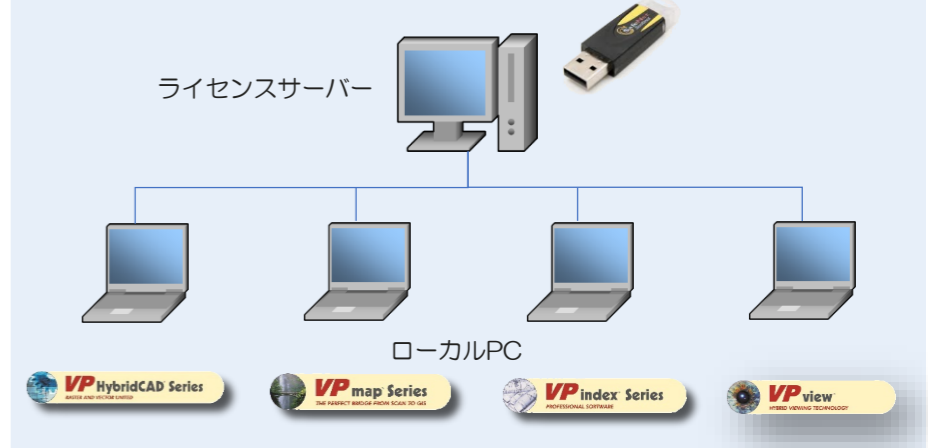
ローカルライセンス運用

ご使用になるPCにUSBキーを装着



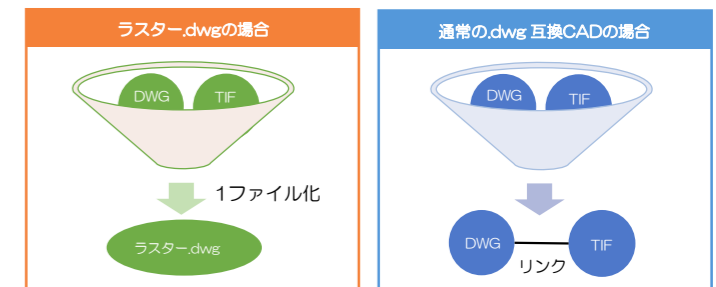
ネットワークライセンス運用

ライセンスサーバーにUSBキーを装着

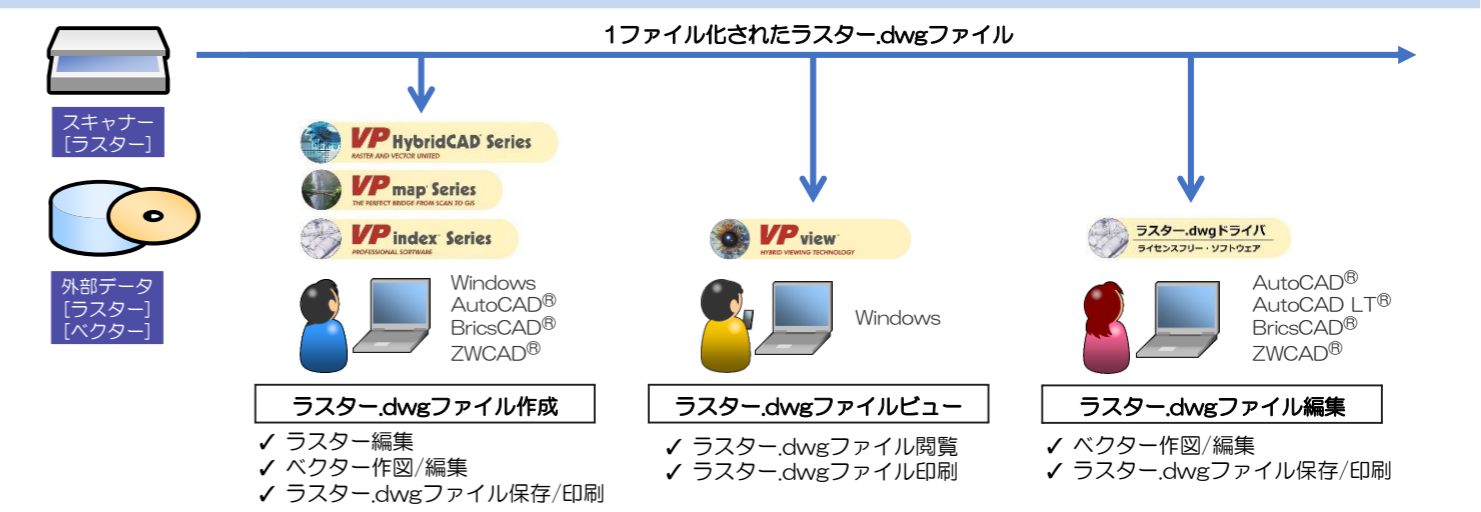


ラスター.dwgファイルとは

通常、.dwg互換CADでラスターアタッチされた図面を保存した場合、.dwgファイルのヘッダーにアタッチされたラスターファイルのパス情報が記述され、結果として2つ以上のファイル(.dwgファイルとラスターファイル)が保存されます。従って、図面を管理する時に、この2つ以上のファイルを同時に管理する必要があります。VPソフトウェアのラスター.dwgファイルでは、.dwgファイルの内部にラスターデータを同時に格納して、1ファイル化されたラスター.dwgファイルとして管理・運用が行えます。ラスター.dwgファイルを利用することで、社内や社外でデータ共有を行う際にパス情報が切れてしまったためにあるはずのラスターファイルが無くなってしまおう等の問題を解消することができます。



ラスター.dwgファイル運用システム図



ラスター.dwgドライバ（無償提供ドライバソフトウェア） 動作環境

ラスター.dwgドライバ 動作環境
 AutoCAD® 2000 (i) 以降、AutoCAD LT® 2002以降、BricsCAD® Pro V16 以降、ZWCAD® 2020 Pro 以降
 その他OS等の環境はAutoCAD®, AutoCAD LT®, BricsCAD®, ZWCAD®の動作環境に準ずる。

※ ラスター.dwgドライバは弊社ホームページよりダウンロードいただけます。

VPHybridCADシリーズ / VPmapシリーズ仕様一覧



	VPstudio	VPraster	VPraster edit	VPstudio mono	VPlite	VPmap pro	VPmap
対応フォーマットサイズ							
サイズ制限無し	■	■	■	■	■	■	■
最大A3サイズ / 300dpi (16,000 x 16,000ピクセル、最大3,600万ピクセル)					■		
入力フォーマット (※1)							
ラスターデータ: TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、CALIS-G4、PDF(Multi-Page)、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、GTX Raster、RLC、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ: .dxf、.dwg、.dwt、DGN、HPGL/2、PDF (Multi-Page) (※3) ハイブリッドデータ: RVD(Softelec format)、VCF、CGM、ラスター.dwg、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■	■	■	■	■	■
GISデータ: RVD(Softelec format)、SHP/e00/GEN(ESRI®)、MIF/MID(MapInfo®)、DGN						■	■
出力フォーマット (※1)							
ラスターデータ: TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、PDF(Multi-Page)、NIF、RLC、CALIS-G4、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ: .dxf、.dwg、DGN、IGES ハイブリッドデータ: RVD(Softelec format)、ラスター.dwg、CGM、SVG、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■	■	■	■	■	■
GISデータ: RVD(Softelec format)、SHP/AEP(ESRI®)、MIF/MID(MapInfo®)、DGN						■	■
全製品で使用可能な機能							
ラスタークリーンアップ (ゴミ除去、傾き補正、回転、切り出し等)	■	■	■	■	■	■	■
ベーシックなラスター編集 (矩形/多角形エリア指定による削除/移動/コピー等)	■	■	■	■	■	■	■
汎用CAD作図、印刷、マルチページサポート (※スタンドアロン版のみ)	■	■	■	■	■	■	■
ハイブリッド編集機能							
高度なラスター編集 (ダイレクトラスター選択、豊富なエリア指定による削除/移動/コピー等)	■	■	■	■	■	■	■
ラバーシート補正 (多点歪み補正)	■	■	■	■	■	■	■
文字置換: 英数字OCR (標準搭載)、日本語OCR (別売オプション)	■	■	■	■	■	■	■
ラスター変形 (細線化、太線化、開く、閉じる)	■	■	■	■	■	■	■
ベクター修正 (要素結合、トリム、文字修正)	■	■	■	■	■	■	■
ラスター合成/ラスター分割	■	■	■	■	■	■	■
ラスター画層分離 (ラスターシンボルの大きさによる)	■	■	■	■	■	■	■
寸法線作図	■	■	■	■	■	■	■
テーブル(表)認識	■	■	■	■	■	■	■
カラー/グレースケールデータ処理							
パレット変換 (S-ガンマ補正、ステップ、コントラスト)、2値化、カラー減色、色分類	■	■	■	■	■	■	■
自動ラスター/ベクター変換							
ライン/円/円弧変換、ポリライン変換、アウトライン変換、画層割り当て、シンボル認識等	■	■	■	■	■	■	■
トレース機能							
CADトレース (ライン、円、円弧)、対話型トレース機能 (ポリライン、スプライン)	■	■	■	■	■	■	■
カラーラスタートレース	■	■	■	■	■	■	■
閉ポリゴン/閉ポリライントレース、等高線への自動高さ割り当て						■	■
GIS機能							
属性付与、属性描画、属性出力: SHP属性/CSV/SIMA/ODBC						■	■
ベクタークリーンアップ (トポロジー構造を作成し、ポリゴンを自動生成) 属性文字自動取得						■	■
その他の機能							
ラスターサイズ	■	■	■	■	■	■	■
差分比較機能、バッチコンペア機能 (バッチによる差分比較機能)	■	■	■	■	■	■	■
カスタマイズ可能なユーザーコマンド、カスタマイズ可能なスタンブ作図	■	■	■	■	■	■	■
レッドライン (マークアップ&注釈) ※スタンドアロン版のみ	■	■	■	■	■	■	■
バッチ処理	■	■	■	■	■	■	■

※1 上記の他、入出力フォーマットは別途お問い合わせ下さい。
 ※2 富士ゼロックス社製DocuworksV7.0以降が同一PCにインストールされている必要があります。 XDWのアノテーション機能はサポートしておりません。
 ※3 ご使用になるPDFのバージョンによっては、一部正常に処理されない場合があります。

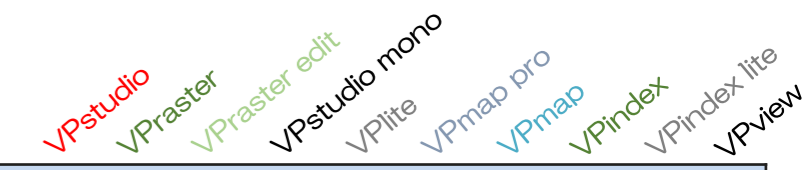
VPindexシリーズ仕様一覧



	VPindex	VPindex lite
入力フォーマット(※1)		
ラスターデータ: TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、CALIS-G4、PDF(Multi-Page)、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、GTX Raster、RLC、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ: .dxf、.dwg、.dwt、DGN、HPGL/2、PDF (Multi-Page) (※3) ハイブリッドデータ: RVD(Softelec format)、VCF、CGM、ラスター.dwg、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■
出力フォーマット(※1)		
ラスターデータ: TIF(非圧縮、G3、G4、LZW、Packbits、Multi-Page)、PDF(Multi-Page)、NIF、RLC、CALIS-G4、Intergraph(CRL、RLE、CIT)、PCX、BMP、JPG、GIF、XDW(Multi-Page) (※2) ベクターデータ: .dxf、.dwg、DGN、IGES ハイブリッドデータ: RVD(Softelec format)、ラスター.dwg、CGM、SVG、PDF(Multi-Page) (※3)	■	■
インデックシング処理		
ラスターファイルのインデックシング処理 (TIF、PDF、JPEG、XDW(※2)等)	■	■
ベクターファイルのインデックシング処理 (.dwg、.dxf、PDF)	■	
バーコード、QRコードの認識	■	
タイトルブロックテンプレートの定義、データベースフィールドの定義、ラスタークリーンアップの定義	■	■
文字認識の定義 (OCR詳細定義、チェックボックス認識、リスト登録)	■	■
バッチ処理によるインデックシング処理結果のレビュー (全ファイル処理後にまとめて調査)	■	
表題欄文字認識		
英数字OCR (標準搭載)、日本語OCR (別売オプション)	■	■
インデックス/アーカイブ出力		
クリーンアップされたラスターファイルのエキスポート	■	■
エキスポートファイル名の定義 (自動リネーム)	■	■
インデックシング処理結果のデータベース出力 (CSV、TXT、HTML、ODBC準拠)	■	■
帳票形式に準じたCSV構造 (CSV構造のカスタマイズ)	■	
属性付きXDW(※2) 出力	■	■
ラスター編集機能		
VPPrasterと同等のラスター編集機能 (ただし各種CADプラグイン利用を除く)	■	

※1 上記の他、入出力フォーマットは別途お問い合わせ下さい。
 ※2 富士ゼロックス社製DocuworksV7.0以降が同一PCにインストールされている必要があります。 XDWのアノテーション機能はサポートしておりません。
 ※3 ご使用になるPDFのバージョンによっては、一部正常に処理されない場合があります。

動作環境/ライセンス管理



	VPstudio	VPraster	VPraster edit	VPstudio mono	VPlite	VPmap pro	VPmap	VPindex	VPindex lite	VPview
動作環境 (対応OS)										
Windows7(32bit/64bit)、8/8.1(32bit/64bit)、10(32bit/64bit) ※Microsoft .NET Framework 4.0が必要となります。	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
各種CADプラグイン利用										
AutoCAD®2010以降、BricsCAD®Pro V18以降、ZWCAD®2020 Pro(64bit版)以降	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
ライセンス管理										
USBキーによるライセンス管理 ※1ライセンスからネットワークライセンスとして利用可能	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

定価表

VPHybridCADシリーズ製品定価

製品名	定価 (税抜き)
VPstudio	880,000円
VPstudio mono	680,000円
VPraster	400,000円
VPlite	320,000円
VPraster edit	180,000円
日本語OCRオプション	98,000円

VPmapシリーズ製品定価

製品名	定価 (税抜き)
VPmap pro	980,000円
VPmap	580,000円
日本語OCRオプション	98,000円

VPindexシリーズ製品定価

製品名	定価 (税抜き)
VPindex	480,000円
VPindex lite	268,000円
日本語OCRオプション	98,000円

VPview製品定価

製品名	定価 (税抜き)
VPview (1ライセンス)	65,000円
VPview (5ライセンス)	150,000円
VPview (10ライセンス)	270,000円
VPview (25ライセンス)	550,000円
VPview (50ライセンス)	750,000円

- ※ 1台目からネットワーク環境でご使用いただけます。
- ※ 複数台ご使用になられる場合は、台数ディスカウントが適用されます。別途お問い合わせください。

VPHybridCADシリーズ年間バージョンアップ保守

年間バージョンアップ保守	定価 (税抜き)
VPstudio年間保守	180,000円
VPstudio mono年間保守	147,000円
VPraster年間保守	120,000円
VPlite年間保守	99,000円
VPraster edit年間保守	48,000円
日本語OCRオプション年間保守	18,000円

VPmapシリーズ年間バージョンアップ保守

年間バージョンアップ保守	定価 (税抜き)
VPmap pro年間保守	198,000円
VPmap年間保守	138,000円
日本語OCRオプション年間保守	18,000円

VPindexシリーズ年間バージョンアップ保守

年間バージョンアップ保守	定価 (税抜き)
VPindex年間保守	120,000円
VPindex lite年間保守	48,000円
日本語OCRオプション年間保守	18,000円

VPview年間バージョンアップ保守

年間バージョンアップ保守	定価 (税抜き)
VPview (1ライセンス)年間保守	12,000円
VPview (5ライセンス)年間保守	27,000円
VPview (10ライセンス)年間保守	49,000円
VPview (25ライセンス)年間保守	99,000円
VPview (50ライセンス)年間保守	135,000円

- ※ 契約日から1年間の間にバージョンアップした場合に、新バージョンをお届けするサブスクリプション契約です。
- ※ 複数台ご使用になられる場合は、上記単価×台数のご契約となります。
- ※ 保守契約ご加入は、製品ご購入から1ヵ月以内、もしくは新バージョンへのバージョンアップ時から、1ヵ月以内といたします。

販売元



Digital e-Tech Corporation
http://www.d-etech.co.jp
Always Ahead

株式会社デジタル・イーテック
 〒418-0114 静岡県富士宮市下条627番地の1
 TEL:(0544) 58-0900 FAX:(0544) 58-0904
 e-mail: vpinfo@d-etech.co.jp
 http://www.d-etech.co.jp

お問い合わせは下記販売店へ

開発元

